

# 道路デザイナー

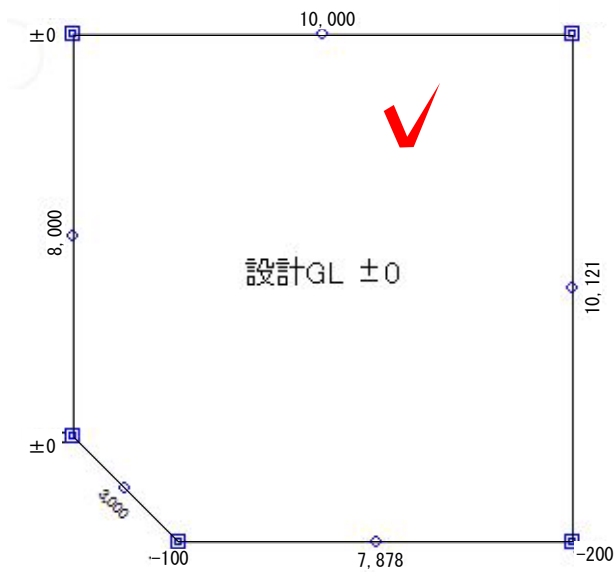
道路・側溝を簡単に作成できるツールです。



## 1 道路を作成する



1-1 敷地の形状とレベルを入力します。  
※今回は左の敷地とレベルで作成します。



1-2 作成した敷地をクリックで選択し、  
右側の「道路」をクリックして道路デザイナーを起動します。

## 道路デザイナーの画面説明

道路デザイナーの画面の概要です。

 詳しい作成例はWEBマニュアルを参照してください。

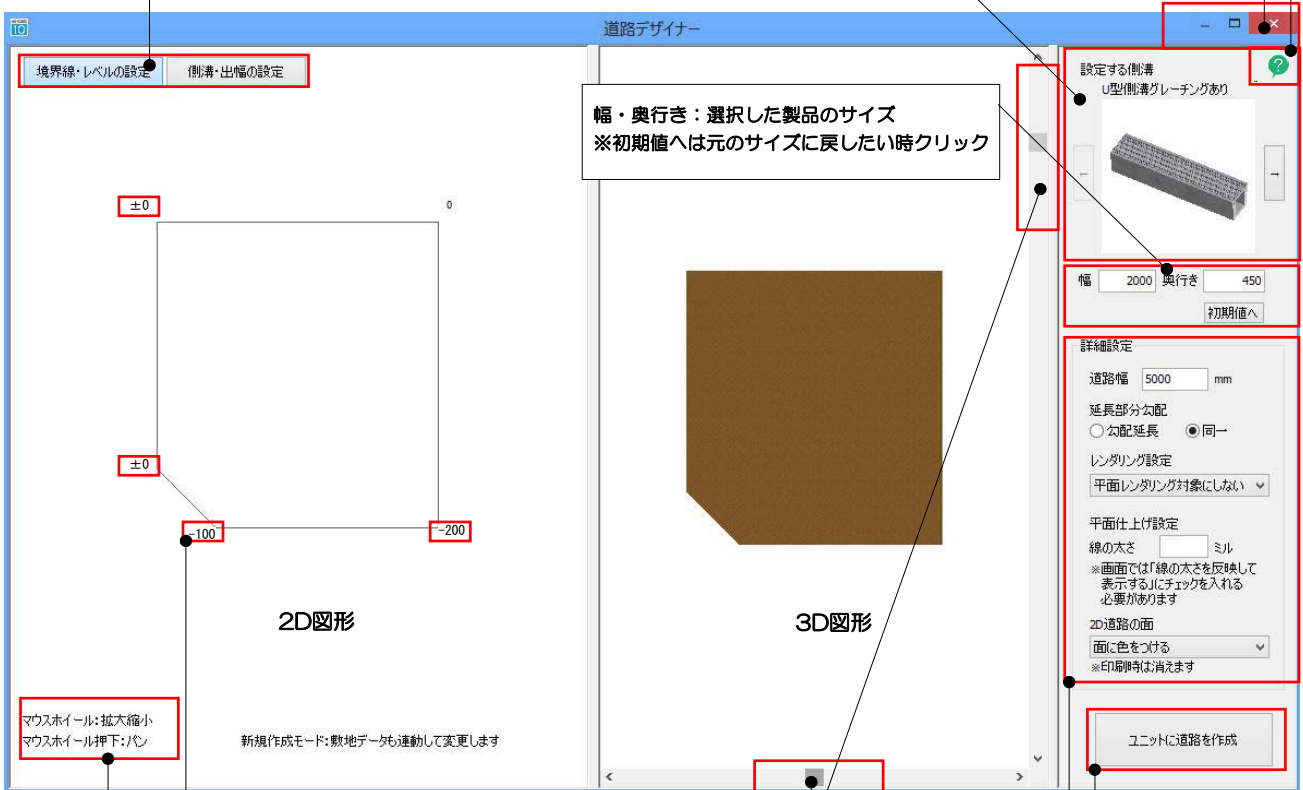
 [オーセブンCAD→道路デザイナーWebマニュアル](#)

境界線・レベルの設定：敷地のレベル変更・道路を作成  
側溝・出幅の設定：側溝やグレーチングを作成

設定する側溝：  
側溝の種類を→で確認しクリックで選択

マニュアルボタン

画面調整・閉じる



幅・奥行き：選択した製品のサイズ  
※初期値は元のサイズに戻したい時クリック

設定する側溝  
U型側溝グレーチングあり

幅 2000 奥行き 450  
初期値へ

詳細設定  
道路幅 5000 mm  
延長部分勾配  
 勾配延長  同一  
レンダリング設定  
平面レンダリング対象にしない  
平面仕上げ設定  
線の太さ [ ] ミル  
※画面では「線の太さを反映して表示する」にチェックを入れる必要があります  
2D道路の面  
面に色をつける  
※印刷時は消えます

ユニットに道路を作成

マウスホイール：拡大縮小  
マウスホイール押下：パン

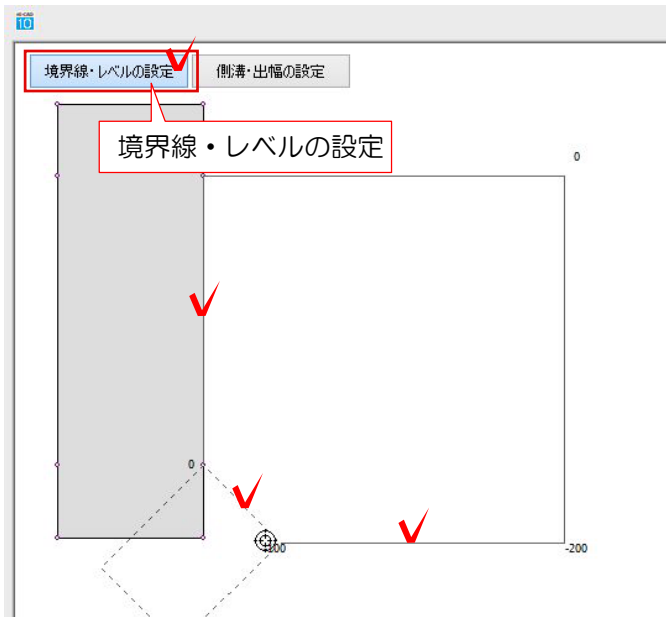
各レベルの数字を選択して変更  
※敷地に予めレベルを入力してなかった場合

マウスホイール：拡大縮小  
マウスホイール押下：パンカーソル

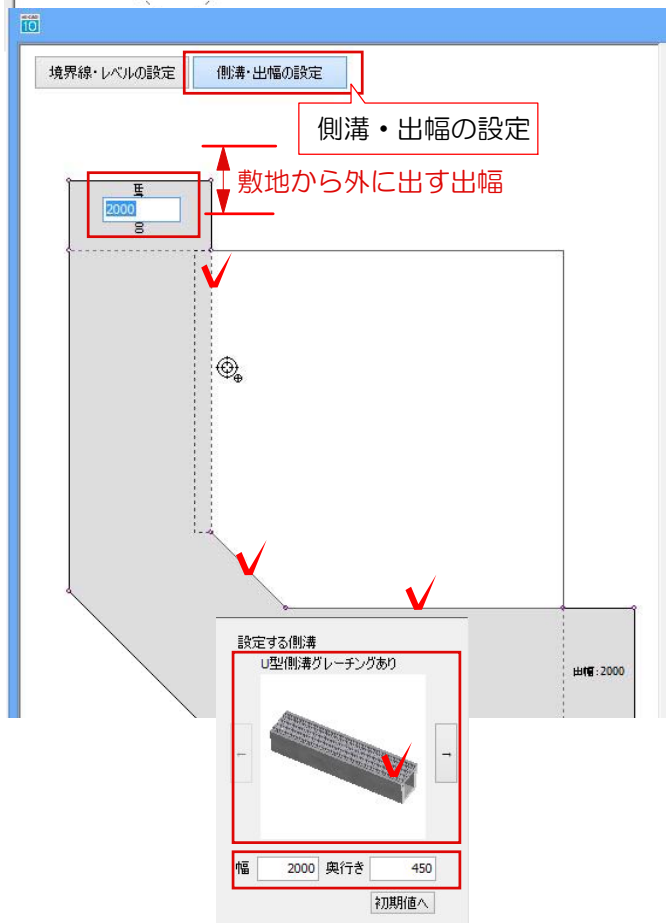
3D図形を上下・左右にドラッグで角度変更

ユニットに道路を作成を選択で完成

詳細設定  
道路幅：入力した寸法で道路幅調整  
  
延長部分勾配  
勾配延長：敷地のレベルから勾配に合わせて自動的に作成  
同一：敷地のレベルと同じレベルで設定  
  
レンダリング設定  
平面レンダリング対象にする：平面の画像作成時表示される  
平面レンダリング対象にしない：平面の画像作成時表示されない  
  
平面仕上げ設定  
線の太さ：設定した太さで画面上に表示される  
※画面では「線の太さを反映して表示する」にチェックを入れる必要がある  
  
2D道路の面  
面を透明にする：道路の平面の色が透明になる  
面に色をつける：道路の平面の色が表示される



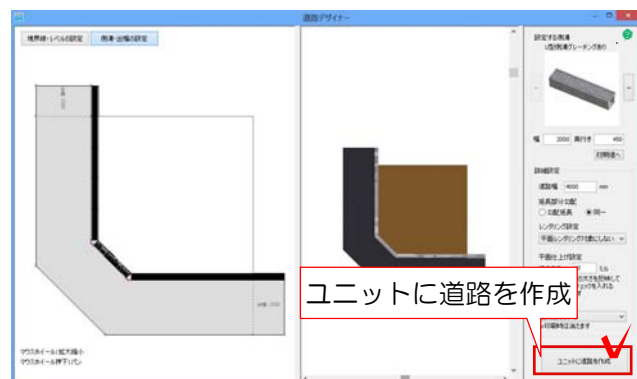
1-3 境界線・レベル設定を選択し、作成したい部分に合わせての時にクリックで道路を作成します。



1-4 側溝・出幅の設定を選択し、出幅をクリックで選択し入力します。

1-5 右上の配置する側溝を選択し、サイズを変更後、作成する範囲にの時にクリックで側溝を作成します。

※→を選択すると設定する側溝の種類を確認できます。



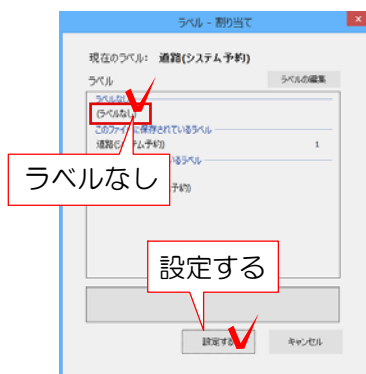
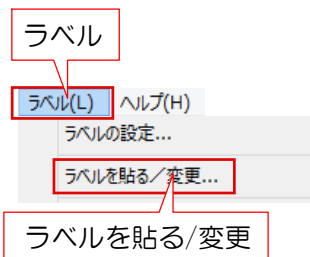
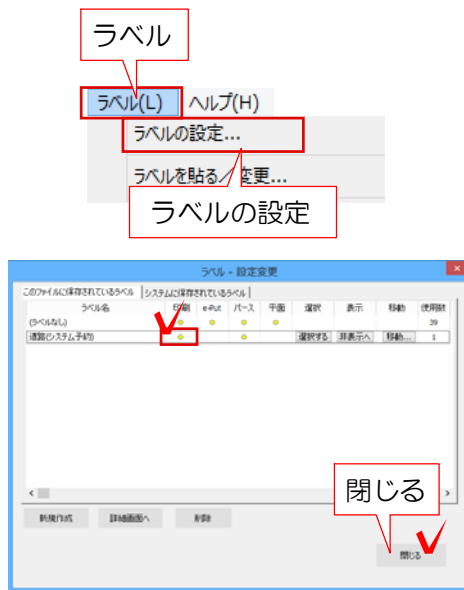
1-6 詳細設定を設定し、ユニットに道路を作成で完成です。



道路は「ユニット」レイヤに作成されます。

## 【道路を印刷したいときは・・・】

道路デザイナーで作成した道路には、作成した時点でラベルが設定されています。



おすすめ&新機能→オーセブCAD  
11新機能→ラベル機能

### 編集方法【その1】

1-1 ユニットレイヤに配置された道路を選択し、ラベルメニューから「ラベルの設定」を選択します。

1-2 道路の印刷設定欄をクリックし  
●印を入れ、閉じるをクリックします。  
※●印が入っているとそれぞれの項目の対象となります。

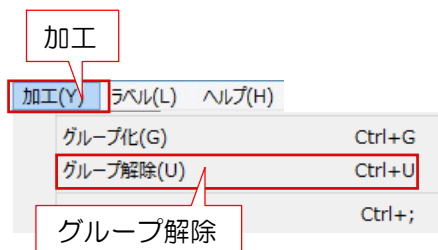
### 編集方法【その2】

2-1 ユニットレイヤに配置された道路を選択し、ラベルメニューから「ラベルを貼る/変更」を選択します。

2-2 (ラベルなし)を選択して、設定するをクリックします。

※ユニットレイヤに配置された道路を右クリックし、ラベルを貼る/変更→ラベルなしを選択しても設定できます。

## 【道路を詳細に編集したいときは・・・】



1 ユニットレイヤに配置された道路を選択し、加工メニューからグループ解除を選択します。

2 道路が床とシンボルに分解され、削除・編集ができます。

※一度グループ解除をすると、道路デザイナーは起動できなくなります。